

# U.S. Indicators

マクロ経済指標レポート

## 米国 フィラデルフィア連銀管轄地区の製造業部門の拡大ペース加速

(05年10月フィラデルフィア連銀製造業景況指数)

発表日: 05年10月20日(木)

~ 変動の大きい統計であるがトレンドは緩やかな拡大傾向 ~

(No. UI - 130)

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001 : [seiji@dlri.dai-ichi-life.co.jp](mailto:seiji@dlri.dai-ichi-life.co.jp))

### フィラデルフィア連銀製造業景況指数

	現状 総合	新規受注	出荷	在庫	雇用	出荷遅延	受注残	販売価格	仕入れ価格	交易条件	6ヵ月先見通し 総合
04/10	27.2	23.5	26.5	2.4	15.0	0.3	2.2	33.2	57.2	24.0	27.8
04/11	19.7	20.8	21.4	4.2	15.4	2.9	1.8	30.3	55.4	25.1	47.9
04/12	25.4	20.9	25.6	4.5	14.0	1.1	3.0	21.1	53.8	32.7	39.0
05/01	13.2	9.8	15.9	2.7	17.0	3.2	5.2	24.7	66.1	41.4	25.5
05/02	23.9	11.7	23.8	7.4	12.3	7.1	2.8	24.6	43.5	18.9	26.5
05/03	11.4	13.2	14.7	5.3	10.1	3.5	2.1	15.3	29.7	14.4	29.8
05/04	25.3	20.3	29.4	3.4	16.8	5.1	3.8	28.0	50.5	22.5	27.5
05/05	7.3	15.0	14.9	2.0	5.4	0.5	0.1	15.7	30.9	15.2	22.3
05/06	2.2	2.5	6.6	0.4	7.1	13.2	19.0	8.1	23.5	15.4	30.6
05/07	9.6	5.0	12.4	10.9	3.4	1.9	9.2	12.0	26.5	14.5	15.3
05/08	17.5	19.8	17.8	7.3	6.3	0.9	7.2	3.0	25.9	22.9	33.4
05/09	2.2	0.5	13.2	1.4	2.7	2.4	10.9	8.6	52.7	44.1	7.0
05/10	17.3	12.5	19.5	4.5	17.0	9.6	0.8	32.6	67.6	35.0	22.0

(出所)フィラデルフィア連銀

### 17.3 と前月から

### 15.1 ポイント上昇

05年10月のフィラデルフィア連銀製造業景況指数(フィラデルフィア連銀管轄地区の製造業、ゼロが拡大縮小の分岐点)は+17.3と市場予想の+10.0を大幅に上回った。拡大縮小の分岐点であるゼロを上回り、前月から15.1ポイント上昇した。さらに、半年後の景況感を示す指数も大幅に上昇しており、10月入り後の同地区製造業部門の業況は大幅に改善している。ただし、この統計は月次での変動が大きい統計であるため3ヵ月移動平均をみる必要があるが、同ベースでの総合指数では、同地区製造業部門が緩やかに加速していることが示されている(2Pグラフ参照)。

### 目先生産の拡大を示唆

個別にみると、新規受注、受注残がプラスに転じ、在庫指数がマイナスに転じたことから、目先同地区の生産拡大が見込まれる。インフレ面では、仕入れ価格が大幅に上昇したように川上でのインフレ圧力が強まっている。一方で、販売価格も大幅にプラス幅が拡大していることから価格転嫁が可能になっているとみられる。この結果、交易条件は前月から大幅に改善しており、企業の収益性は向上している。このような中、労働時間が+11.1、雇用指数が+17.0と大幅に上昇したことから、同地区製造業雇用が拡大することが示唆されている。

### 現状に先行する半年後の景況感に対する楽観的な見方が強まった

先行きに関する調査では、半年後の景況感を示す指数が+22.0と9月の+7.0から大幅に上昇しており、経営者の楽観的な見方が強まった。

半年後の収益環境では、仕入れ価格の低下を見込んでいる一方、販売価格のプラス幅

拡大を予想しており、交易条件の改善を見込んでいる。このような見通しのもと、半年後の労働時間がプラスに転じ、さらに雇用も+11.3(9月+11.4)とプラスを維持していることから、今後雇用の増加が期待できる。一方で、在庫のマイナス幅が拡大しており引き続きコスト削減のために在庫の抑制が続く可能性が高い。以上のように、投入コストの上昇圧力が強い状況が想定されており、今後も企業はコスト削減を積極的に進めるとみられる。

半年後の設備投資見通しは、+18.1と9月の+12.9から上昇していることから、同地区製造業での設備投資の拡大持続が示唆された。

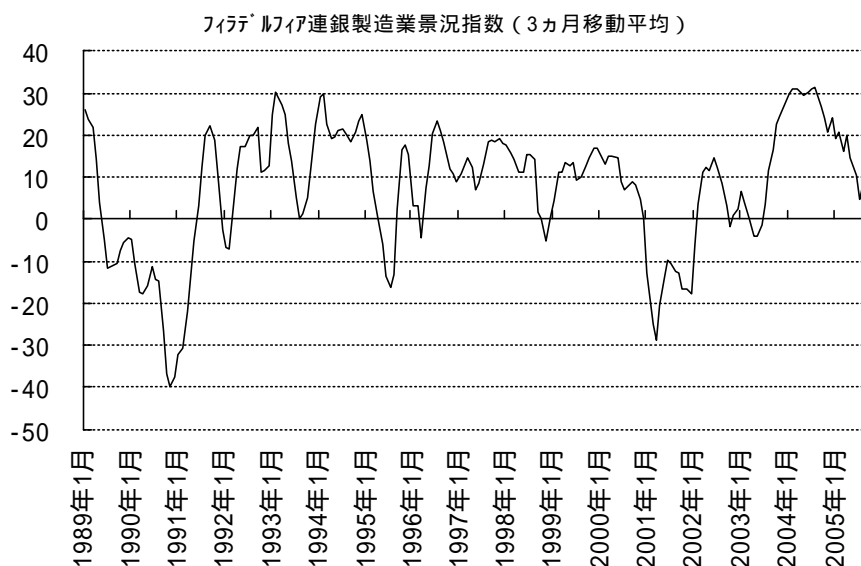
先行きに関しては、在庫の削減が続く一方、受注・出荷のプラス幅拡大、交易条件の改善、労働時間の拡大が見込まれており、先行きに対する楽観的な見方が強まった。

### 企業もハリケーンによって需要が拡大すると判断

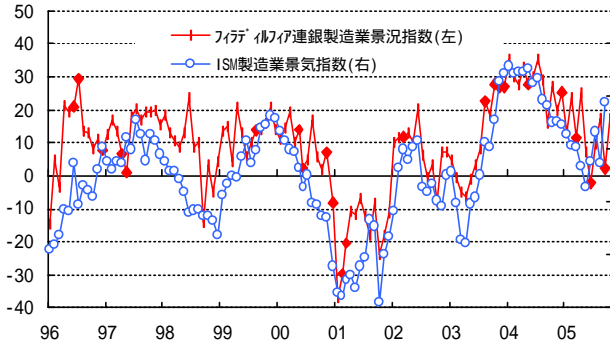
今回特別調査として、ハリケーンの影響調査が行われた。それによると、需要が拡大するとの回答が19.8%と減少するとの回答の16.2%を上回っているように、企業はハリケーン襲来によって需要が拡大するとみている。他では「輸送に問題がある」と回答した比率は27.8%と高く、「原材料を手に入れるのに問題がある」との回答比率は20.9%とやや高めとなった。「エネルギー製品を手に入れるのに問題がある」との回答比率は12.9%と低く、I E A加盟国が戦略備蓄を放出したことでエネルギー製品での供給問題は小さくなったと考えられる。

### ISM 製造業景気指数は前月から小幅低下の可能性

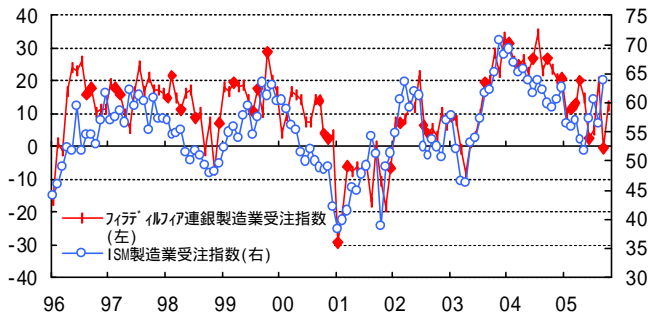
この指数は、ペンシルベニア州東部、デラウェア州、ニュージャージー州南部の製造業の景況感を表す指標であるが、全国の製造業の景況感を示すISM製造業景気指数と似た動きをすることが多い。10月にフィラデルフィア連銀製造業景気指数が大幅に上昇したもののNY連銀製造業景気指数(エンパイア・ステイト景況指数)が低下したことから、10月のISM製造業景気指数は9月の59.4から56.0程度への低下が見込まれる。



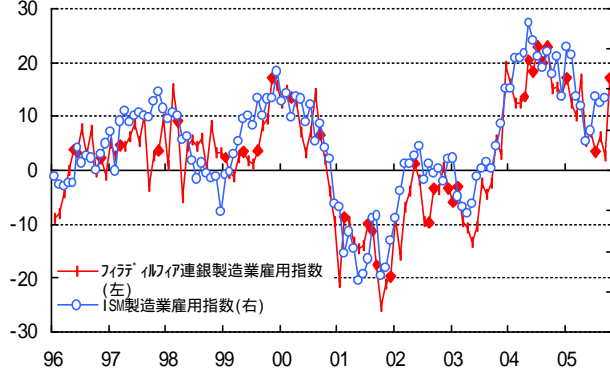
フィデイルワイア連銀製造業景況指数とISM製造業景況指数の推移



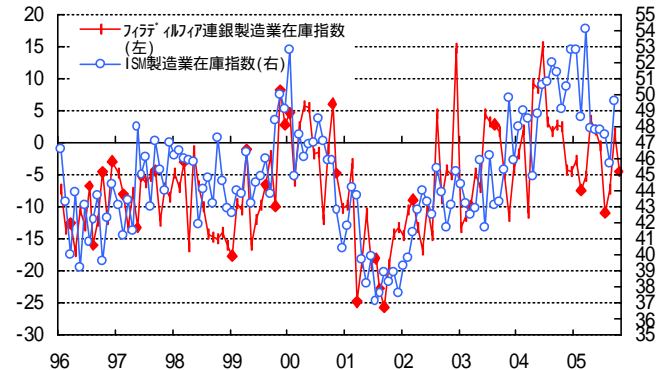
フィデイルワイア連銀製造業受注指数とISM製造業受注指数の推移



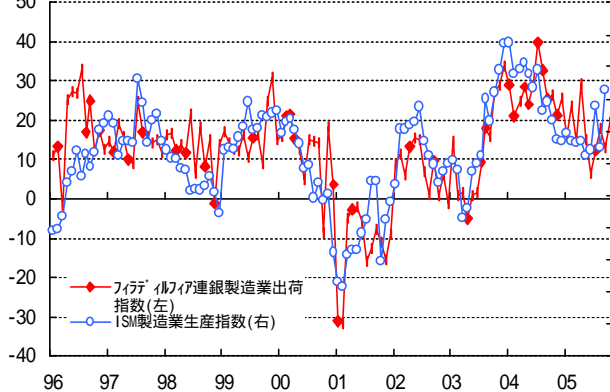
フィデイルワイア連銀製造業雇用指数とISM製造業雇用指数の推移



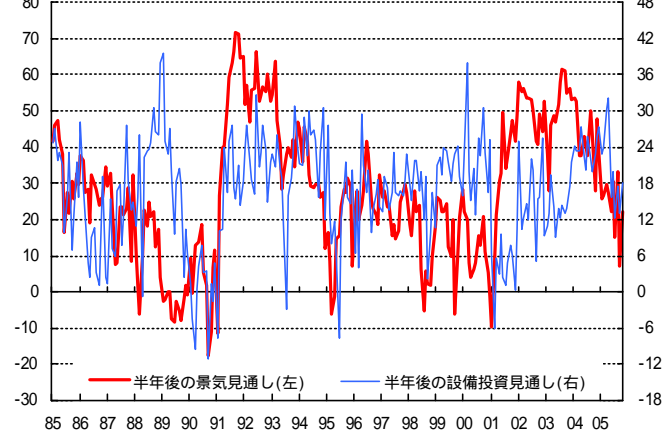
フィデイルワイア連銀製造業在庫指数とISM製造業在庫指数の推移



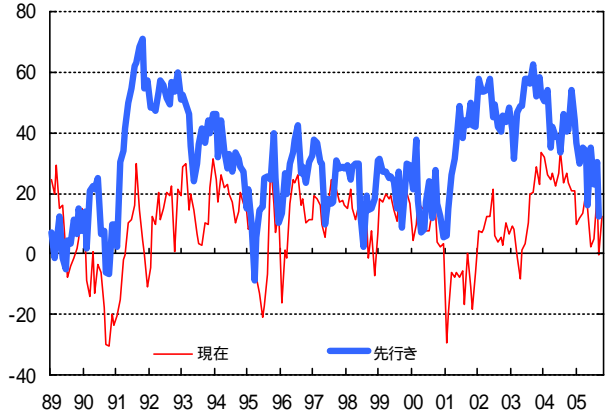
フィデイルワイア連銀製造業出荷指数とISM製造業生産指数の推移



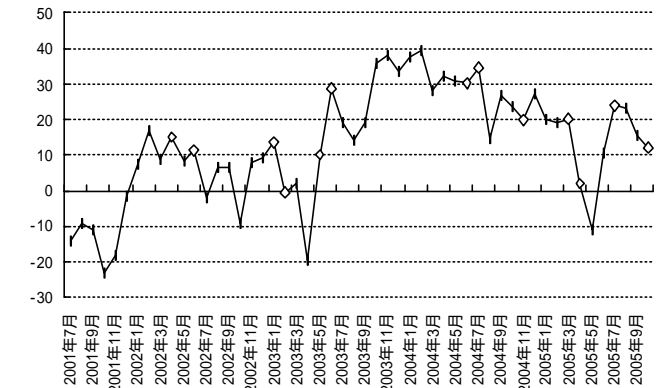
半年後の景気、設備投資見通しの推移



現在と先行きの新規受注の推移



NY連銀製造業景況指数の推移



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命いしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。